



社会福祉法人
真宗協会
帯広はちす園

そよかぜだより

夏季号

夏真っ盛り！華麗なる夜

8月22日(日)『はちす夏祭り』を開催致しました。お昼から縁日を行い、様々な出店にチャレンジしてくださいました。食事は夏祭りの屋台形式で焼き鳥やチョコバナナ、夏に相応しく移動販売のアイスクリームも提供し、利用者様は大変喜んで夏祭りの雰囲気がいかに盛り上がりました。

メインイベントの花火は日の入りを待って開始です。この日の為に沢山の花火を用意し、皆様心行くまで音と光の芸術を堪能し、利用者様の夏の思い出の一幕を飾る事となりました。
(奥村支援員)

お品書き

- ・夜を彩る鮮やかな光、はちす園花火大会
 - ・今年もいっぱい楽しんだ！春〜夏行事特集
 - ・夏祭り花火大会&サマーファッションスナップショット
 - ・今年も満開に咲きました、大正花いっぱい運動&感染症状況
 - ・日々研鑽を重ねます、職員研修情報&花育成4コマ
 - ・デビュー戦で奮闘、就労支援事業紹介
- 編集後記



夏祭り！ はじまるよ〜♪



行事特集

昨年度は、新型コロナウイルスの流行によりほとんどどの行事が中止や規模縮小での開催となりました。そんなやるせない1年が終わり、今年度はさまざまな行事が形を変えながら実施されています。まだ元通りの生活とはならず我慢が続く毎日ですが、1つでも多く利用者の皆様の思い出として残るよう、準備を進めています。ここではいくつか行事の様子を紹介させていただきます。

5月4・5日の2日間に分けて行事を行っています。1日目はお弁当とおやつを持って、ハナツクへ楽しいドライブ。久々に外出を行う事が出来たのでみなさん出発前からソワソワと待ちきれない様子でした。ドライブ中は窓を開け換気し、席の間隔を開ける、消

毒の徹底等、感染症対策を行っています。公園では遊具で遊んだり、足湯にゆっくりと浸かったりと今までできなかったことを堪能して頂けました。

2日目は園内の食堂で男女に分かれてレクリエーションを行っています。バケツリレーなど協力を必要とするゲームを行い、見事なチームワークを披露。ゲームの最後には景品をもらい、みなさんご満悦の様子でした。2日間の行事を通して、充実した連休を過ごして頂けたようです。

(廣江支援員)

公園でのひと時



5月26日に開催した焼き肉行事では、感染症対策の為男性と女性で時間を分け、食堂で召し上がっていただきました。メインのお肉はカルビと七面鳥のお肉を提供しています。

七面鳥のお肉ははちす園で飼育している鳥を使用し、この日の為に捌いたお肉なのでとっても新鮮！いつもはスモークしたものしか食べたことが無かったので、利用者様も初めて食べる七面鳥の焼肉に興味津々でした。少し歯ごたえのあるお肉はさっぱりとした味付けがされており、職員や利用者様にも好評でした。

焼肉の他にもフランクフルトや焼きそば、おにぎり等のメニューが用意されており、利用者の皆様からは沢山食べれて満足した等の声が多数聞かれました。やっぱり焼肉行事は人気の行事です。

(佐藤支援員)

対策をしながら、楽しく・美味しく



今年はおリンピックの年でもあり、はちす園でも新たにスポーツ大会を実施しました。

大会日の7月21日は、スポーツにはうってつけの晴天に恵まれ、利用者様は競技に向けて気合がみなぎっていました。

大会会場は園前庭とし、種目はアジャタ(スポーツ玉入れ)やフライングディスクを行って頂きます。アジャタは活動グループごとの対抗戦で、みんな手に汗握る名勝負を見せてくれました。また、観戦の方は日陰で扇風機を回しながら、お茶やスポーツドリンクを飲んで頂くなど熱中症対策もバッチリ。大会の最後には景品としてアイス「ハーゲンダッツ」を召し上がり、スポーツ後の冷たい物はいつもとよりおいしく感じた様子。うっとりとした様子でアイスを堪能されていました。

(廣江支援員)



お盆前の8月10日に行った行事は、昼食からスタート！利用者の皆さんには「ヤムヤム」のメニューから、事前に食べたいお弁当を選んで頂いています。ボリューム満点でお腹も満たされ、ご自身で選んだお弁当を嬉しそうに頬張っていました。

食後休憩を挟み、男性は食堂で、女性は各居室に分かれてビンゴ大会を開催しました。いつビンゴが出るか、どんな景品が当たるか：ドキドキしながらも楽しんでいただけたようです。全員が無事に『ビンゴ』した後は待ちに待ったおやつ

の時間です！各自お部屋で会話を楽しみながら六花亭のシュークリームを召し上がりました。写真に写る沢山の笑顔からも行事の充実した様子が伝わります。

(佐藤支援員)



夏祭り縁日スナップショット特集

夏祭り行事の日、お昼に縁日を開催を致しました。その様子をご紹介します。

くじびき! あたるかな?



たくさん入れるよ~!



おやつゲット!!!



よってらっしゃいみてらっしゃい!



HACHISU SUMMER FASHION

例年よりかなり暑かったこの夏、涼やかな利用者様の服装をご紹介します。



花柄ハイネックがシン ↓ブルで美しいコーデです。

Flower



Military

↑ワークキャップにポロを合わせ、渋さを演出。



Casual

↑夏にぴったりスカイブルー色のシャツをロールアップ!

アロハに同柄のショートパンツをあわせた、遊び心あふれる服装です。↓

Hawaiian



Pair Look

↑色違いのチュニックで、仲良しさをアピール!

育てた命を皆様の下へ

6月11日(金)、「大正花いっぱい運動」の一環として地域の各団体に安価に花苗を販売する地域活動が行われました。

今年、10種類の花を28団体に計、7,400本の提供をいたしました。

ここ数年で土の改良等の工夫を重ね、今年も地域住民の皆様にも「上手に元気に育てるね」などの高評価を得ることができました。



この成果は、受託事業料の利用者が前年度から土づくりを始めて、本場に小さな種を丁寧に植えて、水をあげるなど、毎日毎日の仕事の結果でもあります。販売の時には、利用者様にも販売を手伝っていただき、お客様から直接お褒めの言葉をかけられることもあり、来年の栽培の活力になりました。

時代との戦い

いまだ猛威を振るう新型コロナウイルス。8月中旬では全国各地で過去最多の感染者数を更新しています。そんなコロナ禍での帯広はちす園の感染症対策についていくつかご紹介します。

帯広はちす園独自の『新型コロナウイルス感染症レベル別対応一覧』に基づき、市内管内の感染状況を参考に、定期的な感染症対策委員会にて予防対応を決定しています。

三密を避けるために、男性・女性で食事の時間をずらし、入浴時では一度に浴室に入る人数の制限をし、班分けして入浴して頂いています。

また、感染対応レベルが高い時にはホールの使用を制限しています。職員も出勤時・お昼の休憩時に検温し、定期的に園内の消毒も実施しています。

7月12日と8月2日には、ワクチン接種を行いました。出来るだけ早い新型コロナウイルスの感染収束を願うばかりです。(滝石支援員)



1日6回の消毒



ワクチン接種の様子

花育成記録



小さな種をひとつひとつ丁寧に
植えていきます♡



温度・湿度管理をすることで
ちいさな芽がでてきます



日々の水やりを忘れずに
育てていくと・・・



満開 

虐待防止研修

虐待防止委員会では職員への虐待やその予防策を学ぶ場として、年2回研修を実施しています。今年度、第1回目の研修テーマは『怒りのコントロールについて』です。

『ある職員に挨拶をしたが、返答がなかった』ことに対し『腹が立つ考え方』と『腹が立たない考え方』について、いくつかのグループで議論しました。沢山の意見が出る中で、自身の怒りの感情がどのような場面でも出やすいのかを考えています。

『怒り』が表出する原因は様々ですが、挨拶が返って来なかったことに対する悲しい気持ち、傷ついた気持ち、何か失敗して相手を怒らせてしまったのかという不安など、自身の思いが届かずもどかしい時にも出てしまうことがわかりました。

利用者支援に於いては、職員自身の余裕のなさや不安な気持ち、思い通りにならない時の苛立ちが虐待に繋がってしまうことがあること、柔軟性がなく絶対的な要求を持っている人、完璧主義者ほど怒りが強く表れやすいことをこの研修を通して学んでいます。『○○しなくてはならない』という考えを少し和らげ、腹の立た

たない考え方を意識的に変えていくことが、不必要に怒ることがなくなる一つのヒントになりました。

また、一人で不安を抱え込まず『はちす園』というチームで支援を行なうことも、心に余裕を持つて支援を進める上で必要不可欠であることを実感しています。(紅露支援員)



救急救命講習

7月より帯広消防署にて職員への救急救命講習受講を進めています。

爆発的な新型コロナウイルスの流行下でもあり、今後益々緊急事態に備える必要性があります。

緊急時の対応方法や応急処置、AED(自動体外式除細動器)の使用方法のレクチャーなどを受けてきました。過去に受講経験のある職員でも年数が経つと忘れてしまうものです。定期的に講習を受けることで、緊急時に冷静に対応処置できるような努めていきたいと思えます。

(紅露支援員)

就労支援事業所より

初仕事

今年度より川西町にある、とかちマツシユで有名な「鎌田きのこ」様で月・水・金の週3日間、利用者様3名でマツシユルーム出荷用の段ボール作り実習に参加させて頂いています。

作業工程では段ボールにスタンプを押す作業と段ボールの底にテープを貼って組み立てる作業を1日3時間、平均600個を仕上げています。

こんなにたくさん出来ました



しっかりと手洗いをします

段ボールのテープ止めは中々難しいもので、しわが寄らない様に、真っすぐに、底にしつかりと貼り付けて、きれいに仕上げる為には園に戻ってからも練習が必要です。スタンプ押しも一発勝負の為、滲んでしまう事があり、力まないように時折声掛けをしながら行って頂いています。また、作業前後には手洗いをしっかりと行い衛生管理への意識も身につけられる実習です。作業は3時間立ちっぱなしなので、10分程の休憩を頂き、集中力が切れない様に進めています。

(山崎指導員・木幡支援員)

力を
入れずに...



真っ直ぐきれいです!



大変よく
できました!



テープ貼りの自主練習中



『一年を振り返って...』 ★イヤーアルバムを作りました



写真を園内に掲示すると利用者の皆様
が楽しんで行事を振り返っていると様子を
目にします。時期が来るとまた新たな行
事に貼りかえられてしまう為『形に残る
物を作りたい』という思いから、昨年広
報委員会で検討しイヤーアルバムの制作
をしました。

1階のホールに設置をして自由に閲覧
出来るようにした所、皆様が集い想い出
を語らう様子が見られました。
行事のお話し等、アルバムを通してコ

表紙はこんな感じです



コミュニケーションが生まれるいいツール
となっており、親睦を深められている様
子に嬉しく感じています。
保護者様も来園が可能になった際は、
ぜひ「イヤーアルバムを見せて！」とお伝
え下さい!! 行事や日中活動の様子など、
飾らない普段の様子を楽しんで頂けたら
幸いです。
(ガデイル支援員)



障害者支援施設 帯広はちす園

〒089-1242 帯広市大正町東1線102番地1
TEL 0155-64-5044
FAX 0155-64-5261
URL <http://www.shinsyukyoukai.jp/hachisu/>
MAIL hachisuen@shinsyukyoukai.jp

帯広はちす園

『そよかぜだより』

【編集委員長】

ガデイル園 恵

【編集委員】

- 山崎 秀一
- 木幡 由希子
- 紅露 道晃
- 奥村 圭吾
- 滝石 賢汰
- 廣江 美咲
- 佐藤 友那

《編集後記》

『そよかぜだより』令和3年夏季号い
かがでしたでしょうか？我慢が続く毎
日ですが、施設での新型コロナワクチ
ン接種も終了し、これから少しずつ出
来る事が増えていくと思われれます。
今後も『そよかぜだより』を通し、
皆様の行事・生活の様子をお伝えでき
ればと考えていますので、どうぞ楽し
みにお待ちください。
(ガデイル支援員)